

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

ともに支え合い いつまでも健やかに 安心して暮らせるまちづくり

本町では、山田町総合計画第9次長期計画（平成28年度～令和7年度）において、「健やかで心温まる地域づくり」を施策の基本方向のひとつに掲げ、一人ひとりが保健・医療・福祉などの必要なサービスを必要な時に受けられ、ともに支え合う地域社会を形成し、全ての町民が生きがいをもって健康に暮らせる環境づくりに取り組みながら、町民が主役となって、積極的・主体的に参画する地域づくりを推進しています。

少子高齢化に伴い、本町では、総人口の減少とともに高齢者人口が減少に転じる中、介護ニーズが特に高い85歳以上は今後も大幅な増加が続くものと見込まれます。高齢者の単身世帯や夫婦のみの世帯、認知症の人の増加により、生活を支援するためのサービス需要がさらに増加・多様化することが予測され、中長期的に安定した介護サービスの提供が求められる一方で、現役世代の減少による介護従事者の不足など、将来に向けたさまざまな社会保障制度上の課題も挙がっています。

このような中で、高齢者が安心して日常生活を営むことを持続して可能にするためには、限られた社会資源を有効に活用しながら、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が提供される体制（地域包括ケアシステム）を本町の実情に応じて深化・推進していくことが重要です。

こうしたことを踏まえ、本計画の基本理念を「ともに支え合い いつまでも健やかに 安心して暮らせるまちづくり」とし、高齢者が自ら健康づくり・介護予防に努め、地域社会で生きがいを持って活躍し、医療や介護が必要となっても地域や人とのつながりを保ちながら自分らしい生活を安心して続けられるよう、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムのさらなる推進や地域づくりなどの実現に向けて取り組みます。

2 基本目標

基本理念の実現を目指し、次の3つの目標を定めます。

基本目標Ⅰ 生きがいづくりと介護予防の推進

いつまでも健康でいきいきと暮らしていくためには、年齢にとらわれることなく主体的に活動し、自立した生活をするための生きがいづくりや健康づくりをしていくことが重要です。

高齢者一人ひとりが、個性と能力を最大限に発揮し、地域や社会における役割を積極的に担い、活躍の機会がさらに広がるよう、生きがいづくりや社会参加を促進します。

また、高齢者が自らの健康に関心を持ち、健康づくりや介護予防などの取組に参加できるよう、ニーズに合った健康づくり・介護予防サービスの充実を図るとともに、自分が住む地域での自主的な活動においてより効果的な介護予防の取組ができるよう支援を行います。

これら取組は、「新しい生活様式」を踏まえ、感染予防対策を徹底した上で事業を推進していきます。

基本目標Ⅱ 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

少子高齢化や核家族化が進行している中、地域には生活上の課題を抱えやすく、周囲もその課題に気付きにくいひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えています。

高齢者ができるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするため、地域住民や支援者、福祉関係者、医療機関、行政などが連携し、地域のネットワークづくりを強化しながら、包括的な地域ケア体制の充実を図ります。

また、継続して自立した生活が送れるような支援策として、単身高齢者世帯の安否確認や高齢者世帯の閉じこもり防止対策など、それぞれが抱える問題に応じたきめ細かな事業の展開が必要とされています。町が実施している事業の周知を図りながら、ニーズに応じた福祉サービスを提供するとともに、高齢者の移動手段の確保など、地域ごとの課題に対応した福祉施策についても今後検討していきます。

基本目標Ⅲ 介護保険事業の健全かつ円滑な運営

介護サービスを必要とする高齢者が今後も増加すると見込まれる中、高齢者一人ひとりとその家族の生活の状況に応じたサービスを提供できる体制を整備することは、地域包括ケアシステムの構築には欠かせません。

必要な介護保険サービスが受けられ地域で安心して住み続けられるよう、各種サービスの確保と充実を図るとともに、町内外の事業所などと連携を図りながら、利用者の多様なニーズに対応した適切なサービスの提供に努めます。

また、介護保険事業の適正な運用と持続可能な運営のため、介護サービス事業者への助言や指導監督を行うとともに、適切なサービス提供のための介護給付の適正化などに取り組みます。

3 施策の体系

基本理念	基本目標	基本施策
ともに支え合い いつまでも健やかに 安心して暮らせるまちづくり	I 生きがいづくりと介護予防の推進	1 生きがいづくりと社会活動への参加の促進
		2 健康づくりの推進
		3 介護予防の強化
	II 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	1 包括的な地域ケア体制の充実
		2 在宅医療と介護連携の推進
		3 生活支援体制整備事業の推進
		4 認知症高齢者及び家族への支援
		5 家族介護者への支援
		6 在宅福祉サービスの充実
		7 安心して暮らせる環境整備の推進
	III 介護保険事業の健全かつ円滑な運営	1 介護保険制度の適正運用
	2 介護人材の確保及び資質の向上	
	3 災害対策・感染症対策	

4 地域包括ケアシステムの深化・推進

地域包括ケアシステムは、高齢者自身が、心身ともに健康を維持する努力をし、地域社会がその生活を支援し、「自助・互助・共助・公助」がバランスよく調整され、必要に応じてサービスを利用しながら、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるようにするための仕組みです。

本町では、第6期計画から地域包括ケアシステムの構築に取り組んできましたが、日常生活上で支援の必要な高齢者が増える中、更なる医療・介護・予防等の一体的な提供、多様な生活支援の提供が必要となります。

本計画では、これまでの取組を深化・推進するため、地域・事業者・行政などの関係機関との連携や地域の中で活動する担い手の育成や確保に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの中心となる地域包括支援センターの運営強化や住民主体の介護予防事業、身近な地域住民による声かけや見守りなど、本町の地域特性に応じた効果的な事業を横断的に推進し、体制の充実に努めます。



5 日常生活圏域の設定

介護保険事業計画では、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付など対象サービスを提供するための施設の整備の状況、その他の条件を総合的に勘案して、各市町村の高齢化のピーク時までには目指すべき地域包括ケアシステムを構築することを念頭において定めることとされています。

本町においては、第7期までと同様に、山田、船越、織笠、大沢、豊間根の5圏域として設定します。

■日常生活圏域ごとの人口と高齢化率（令和2年10月1日現在）

単位：人

	山田	船越	織笠	大沢	豊間根	合計
総人口	4,881	3,415	2,123	1,726	2,959	15,104
40歳未満	1,376	959	606	569	819	4,329
40歳～64歳	1,511	1,049	677	563	1,014	4,814
高齢者人口	1,994	1,407	840	594	1,126	5,961
65歳～74歳	870	680	398	275	558	5,781
75歳～84歳	737	509	286	228	385	2,145
85歳以上	387	218	156	91	183	1,035
高齢化率	40.9%	41.2%	39.6%	34.4%	38.1%	39.5%

資料：住民基本台帳

■日常生活圏域ごとの高齢者世帯数等（令和2年10月1日現在）

単位：世帯

	山田	船越	織笠	大沢	豊間根	合計
総世帯数	2,318	1,407	914	697	1,206	6,542
高齢者がいる世帯	1,445	979	587	407	772	4,190
高齢者のみの世帯	934	512	313	172	374	2,305
高齢者ひとり暮らし世帯	598	287	183	93	206	1,367
うち要介護者単身世帯	185	50	35	9	43	322
高齢者夫婦のみの世帯	284	196	112	72	145	809
夫婦のどちらかが要介護	35	22	18	7	11	93
夫婦とも要介護	11	2	2	1	1	17
その他の高齢者のみの世帯	52	29	18	7	23	129
うち要介護者がいる世帯	26	10	7	4	12	59

資料：住民基本台帳

※「要介護者」は、要介護1～5の認定を受けた方を集計しています。

■町内の介護保険施設及び地域密着型サービス事業所の立地状況

種 別	圏 域	名 称
指定介護老人福祉施設	山 田	特別養護老人ホーム平安荘
介護老人保健施設	山 田	介護老人保健施設さくら山
地域密着型通所介護事業所	豊間根	石峠宅老所
小規模多機能型居宅介護事業所	山 田	小規模多機能型居宅介護事業所 恵みの里 眺望
	船 越	小規模多機能センター 絆の里 やすらぎ
認知症高齢者グループホーム	山 田	あお空グループホーム山田
	山 田	グループホームまぶる いろは館
	大 沢	グループホームまぶる
	豊間根	ホームとよまね
	豊間根	ホームとよまね2号館